



プレスステートメント 2015



2015年2月27日

目次

ITRAはトレイルランニングの成長に貢献する競技団体です	4
競技の定義と価値観を定める	7
良質な大会と信頼性が高く比較可能な大会結果を確保する	9
アスリートの評価制度	10
競技者の健康と安全を守る	11
国際的なプロモーション活動	13
ITRAの組織と役員構成	15
連絡先	16

ITRAはトレイルランニングの成長に貢献する競技団体です

本年8月、トレイルランニングは国際陸上競技連盟（IAAF）の新たな公認競技種目となります。国際トレイルランニング協会（International Trail-running Association、ITRA）は2013年に設立されて以来、この競技が世界規模で成長することに貢献してきました。

また、ITRAは国際ウルトラランナーズ連盟（International Association of Ultrarunners、IAU）による2015年世界トレイルランニング選手権大会（フランス・アヌシーで開催されるMaXi-Race）の開催を支援しています。

ITRAの設立からわずか2年、トレイルランニングは瞬く速さで成長しています。

ITRAとは何ですか？

選手を始めとするトレイルランニングに関心を持つ個人と大会主催者によって構成される国際的な非営利団体です。トレイルランニングの成長を見守りながら適切な方向性を示すことで、急速に成長するこのスポーツの国際的な基盤となることを目的としています。

かつて少数の愛好家の楽しみであったトレイルランニングはここ数年でスポーツとして人気を高めています。大会主催者をはじめとするトレイルランニングの関係者は安全の確保をはじめとする様々な社会的要請に直面しています。同時に、大会主催者、有力選手、各種スポーツブランドとそのサポートチームの間の競争も高まりつつあります。

トレイルランニングの人気が急激に高まる中でその健全な成長を促すため、ITRAは様々な課題についての検討の場となり、意見を交換し、各国の競技団体への提議（プロポーザル）をまとめることを目指しています。とりわけ、国際陸

連（IAAF）に対してトレイルランニングを代表する声となることはITRAの重要な役割です。

誰がITRAを構成していますか？

ITRAの設立メンバーはトレイルランニングに深く関わりを持っており、特に大規模な大会の主催者を中心に構成されています。

2015年1月末現在の組織の概要は次の通りです。

- **トレイルランニング大会の主催者が57カ国から400団体**
- **6カ国**のトレイルランニングの全国競技団体
- **70カ国から800人**の個人会員

ITRAは何を目的とする競技団体ですか？

- トレイルランニングの成長と発展を推進します。
- トレイルランニング大会の品質を高めることに寄与します。
- トレイルランニングが尊重すべきモラルを広めます。具体的には誠実、謙虚、フェアプレイ、平等、相互の尊重、協力といった価値観です。
- 健康面、安全面での事故やドーピングを予防するための方策を推進します。
- トレイルランニングを環境保護の考え方に沿って改善していくことに寄与し、持続可能なスポーツとして成長することを目指します。
- トレイルランニングの世界選手権やコンチネンタル選手権、シリーズ戦を開催する団体を支援し、競技そのものや有力人気選手がより多くの注目を浴びることを目指します。

2014年末までの実績の一部は次の通りです。

過去4年間に開催された**8,000**の大会について内容を審査しました。

7,500の「いいね」をFacebookでいただきました。

29,000の訪問者が毎月ウェブサイトをご覧ください。

注：個人会員の年会費は5ユーロ、大会主催者会員、スポーツブランド会員の年会費は150ユーロです。なお、大会主催者会員の年会費は大会規模に応じて50ユーロから150ユーロの範囲で異なります。年会費には大会の評価・認証などの特典が含まれています。

競技の定義と価値観を定める

ITRAは最初にトレイルランニングについて国際的に共通の定義を設けることから活動を開始しました。国際的な定義を確立することは国際陸連との協議において不可欠であると同時に、関連する他の競技種目との違いを明確にする上でも重要です。

ITRAが提案するトレイルランニングの定義

「トレイルランニングとは、立ち入りが認められた自然環境（山岳、森林、平原など）において徒歩で行う競走である。コンクリートなどで舗装された人工路は最小限とする（コース全長の20%以下とする）。参加する選手の大会中の行動には半自律または完全な自律を求めることが望ましい。スポーツマンシップ、誠実、協力、自然環境保護という考え方を尊重する。」

以上の定義により、2015年8月に中国・北京で開催される総会で国際陸連（IAAF）は公式文書である「競技規定書」を改定し、トレイルランニングを正式な競技種目に加えます。

ITRAの目的のもう一つの重要な柱となるのが、**倫理憲章 (ethical charter)** を自ら制定し、トレイルランニングの根幹をなす価値観を守ることです。

● 誠実 (Authenticity)

競技者が自然環境と向き合うことを求められるがゆえに、トレイルランニングは誠実さが求められるスポーツです。自然環境は競技者の意欲をかき立て、限界に挑戦するよう迫るだけでなく、競技者に対して自然との調和を要求することを忘れるべきではありません。

● 謙虚 (Humility)

人里離れた原野において謙虚であることは、自然災害の可能性を常に考慮する、ということです。状況に応じて注意を払い、競技を中断することも含めて対応しましょう。自然の摂理や、人里離れた場所において強度の高いスポーツをするために身につけておかなければならない基本を学ぼうとする態度が、謙虚な振る舞いのためには必要です。

● フェアプレイ (Fair-play)

競技者にとってフェアプレイとは競技規則を尊重し、あらゆる種類のドーピングを退け、相互援助と協力という考え方をトレイルランニングで実行することを意味します。大会主催者にとっては、不正行為、ドーピング、暴力、機会の不平等などに立ち向かうために必要な手段を講じることを意味します。

● 平等 (Equity)

トレイルランニング大会においては、すべての選手は権利と義務において平等です。トップ選手を迎えるための手段や配慮が、他の選手の参加を妨げることがあってはなりません。

● 相互の尊重 (Respect)

競技者は人里離れた自然から同じく恩恵を受けるすべての人を尊重することを約束します。また、競技者の判断力に悪影響を及ぼすことで自らの限界を超える行動につながるため、いかなるドラッグも決して服用することがないように特に注意しなければなりません。

大会主催者は大会開催により発生する可能性のある環境面でのリスクを明らかにし、そのリスクを抑えるための対応を競技者に求めます。競技者は自らがコースを通行することで、環境にもたらすインパクトを最小限にとどめることに同意しなければなりません。

● 協力 (Solidarity)

大会参加者は誰かが危険な状態に陥ったり、トラブルを抱えていることに気づいた場合には、救護を最優先しなければなりません。

倫理憲章においては、これらの価値観のそれぞれについて対応する原則を定め、競技者、大会主催者、大会協賛者、ボランティア、地域住民、およびトレイルランニング大会を受容する自治体のそれぞれが**実際にどのような行動をすればよいかを示す指針**となるようにします。

注：倫理憲章は権威的な画一性や標準の確立を目的とするものではありません。誰もがその文化や感情に基づいてトレイルランニングの精神について何らかの考え方を加える自由を持ちます。

良質な大会と信頼性が高く比較可能な大会結果を確保する

大会の一般的な質と大会結果の信頼性を高めるため、ITRAはトレイルランニング大会のコースや難易度を評価し、認証を与える事業に着手しました。

認証 (Certification) : 大会の定量的な特性を検証し、保証します。具体的には距離、獲得上昇高度、獲得下降高度です。認証を求める大会主催者はコースのGPSデータをITRAに提供し、ITRAではあらゆる大会に共通の一定の手順に沿って分析します。

難易度の評価 (Evaluation of the difficulty) : ITRAでは1ポイントから4ポイントまでの尺度を設けました。

スタートからフィニッシュまで中断のないワンステージのレースについては、距離と獲得上昇高度、獲得下降高度、エイドステーションの数、コース計測の信頼度を考慮して評価を決定します。

中断を挟んで数日にわたって開催される複数ステージのレースについては、ステージ数、距離、最長距離のステージの獲得上昇高度などの基準を加味して評価します。

注：2015年3月に評価手法の改善を予定しており、すべての競技者にとってより有用な情報が提供できる予定です。

- 評価を終えた大会の主催者に対しては、ITRAはコース計測の正確さと評価尺度のポイント数に認証を与えます。

注：この認証サービスはITRAの大会主催者会員に対しては追加費用なしで提供されます。会員以外の大会主催者に対しても1レースあたり100ユーロの審査料をお支払いいただくことで認証サービスを提供します。

アスリートの評価制度

アスリートが達成した記録の意義を明確にし、競技団体やスポーツブランド、そのサポートチームにとっても有益に活用できるようにするため、ITRAでは**国際成績指数 (international performance index)** を開発しました。

この指数は一部の有力アスリートだけではなく、競技レベルに関係なくすべての競技者が自身の成績を評価するために活用できます。

この**指数**は厳密なルールに基づいて算出されます。すべてのレースについて、ITRAは理論上の最高の成績を算出します（この成績には指数で1000が相当します）。この理論上の最高成績から各競技者のタイムがどれだけ遅れるかによって成績指数は算出されます。

成績指数には各競技者について過去36ヶ月間の最良のレース結果5つの平均値が考慮されます。

ITRAが持つ大会結果のデータベースには現時点で5,300以上の大会について47万人以上の競技者の結果が蓄積されています。

さらにアスリートは各競技者の優勝したレースやレース結果の完全な一覧を閲覧することができます。

競技者の健康と安全を守る

大会において競技者の身体面の健康と安全を確保するために、ITRAではいくつかの手段を提供しています。

● 安全面のガイダンス (The security guide)

大会主催者に対してITRAでは「推奨するガイドライン」(guide of recommendations)を提供しています。これは、医師や救急士、安全管理の専門家、大会主催者から構成されるITRAのセキュリティ委員会が策定したものです。

大会運営の実際においては、主催者は安全管理とレスキューの計画を策定することが義務付けられます。こうした事情に対応するため、ガイドラインでは事故を予防するための取り組みと全ての関係者に周知しておくべき情報について詳しく解説しています。

レスキューに関連しては、救助にあたって必要になる人的なスキルや物資について表にして整理しています。

注：このガイドラインはITRAのウェブサイトから無料でダウンロードすることができます。

● 健康面のポリシー (Health Policy)

ITRAではスポーツにおける健康を推進する団体「Athletes For Transparency」(AFT)の協力を得て、健康面のポリシーを策定しました。その中で、スポーツをする人たちの健康を守ることを目的とした対策を紹介しています。

AFTの理念はルールと倫理を尊重したスポーツの発展を支援することですが、特にドーピングを撲滅することに力を入れています。AFTは世界的な反ドーピング団体、各国反ドーピング組織(ONADs)とその国際連盟と協力しています。

AFTはITRA向けにSHOL (Sport and Health On Line) というウェブサイトを立ち上げており、そこで次のようなサービスを提供しています。

- 大会参加者が自身の健康状態や治療歴などを個別に登録できる仕組み（無料）。健康診断証明や治療目的使用に係る除外措置（Therapeutic Use Exemption, TUE）、疾患履歴、現在の治療内容などが登録可能です。
- 大会主催者は自らの大会の顧問医師を通じて、競技者が提供した情報を閲覧したり、分析の結果得られた参加者の医学的な特性について加筆したりすることができます。

ITRAでは会員である大会主催者がレース前に生化学的検査（血液、尿、毛細血管など）を実施するのを支援します。

異常値が検出された場合でも、その後の対応は単に該当者に告知するだけとするところから、医学的な見地からレース参加を禁止するところまで、様々な対応が考えられます。

国際的なプロモーション活動

2012年9月に初めてトレイルランニング会議をクールマイユールで開催して以来、ITRAは国際ウルトラランナーズ協会（IAU）と良好な関係を築いてきました。IAUはマラソンの距離を超えるランニングを所管・振興している団体で、国際陸連（IAAF）の傘下にあります。

近年世界中でトレイルランニングが急速に人気を集めていることは国際競技団体の関心を高め、その結果としてITRAはIAAFと2013年末に行った協議の場で**トレイルランニング・ワーキンググループ**を設置することで合意しました。このワーキンググループはトレイルランニングをIAAFの協議種目に加えることができるかどうか検討することを目的としていました。

ITRAはこのワーキンググループに参加し、トレイルランニングという競技の定義を提案しました。この定義は、クロスカントリーや山岳レースといった類似の競技からトレイルランニングを明確に区別することを目的としていましたが、検討の結果、IAAFは**トレイルランニングをその組織規程に加えることが可能**と判断しました。この結果、来る2015年8月の北京で開催される国際陸連総会で正式にトレイルランニングは競技種目に加わります。

注・北京で開催される総会までの間、国際陸連の競技規則第252条で公式に定めるトレイルランニングの定義について、ITRAは調整を加える役割を担っています。

一方、ITRAではIAUに対し、世界トレイルランニング選手権大会の組織面での強化が重要であることを説明し、必要な支援を行ってきました。

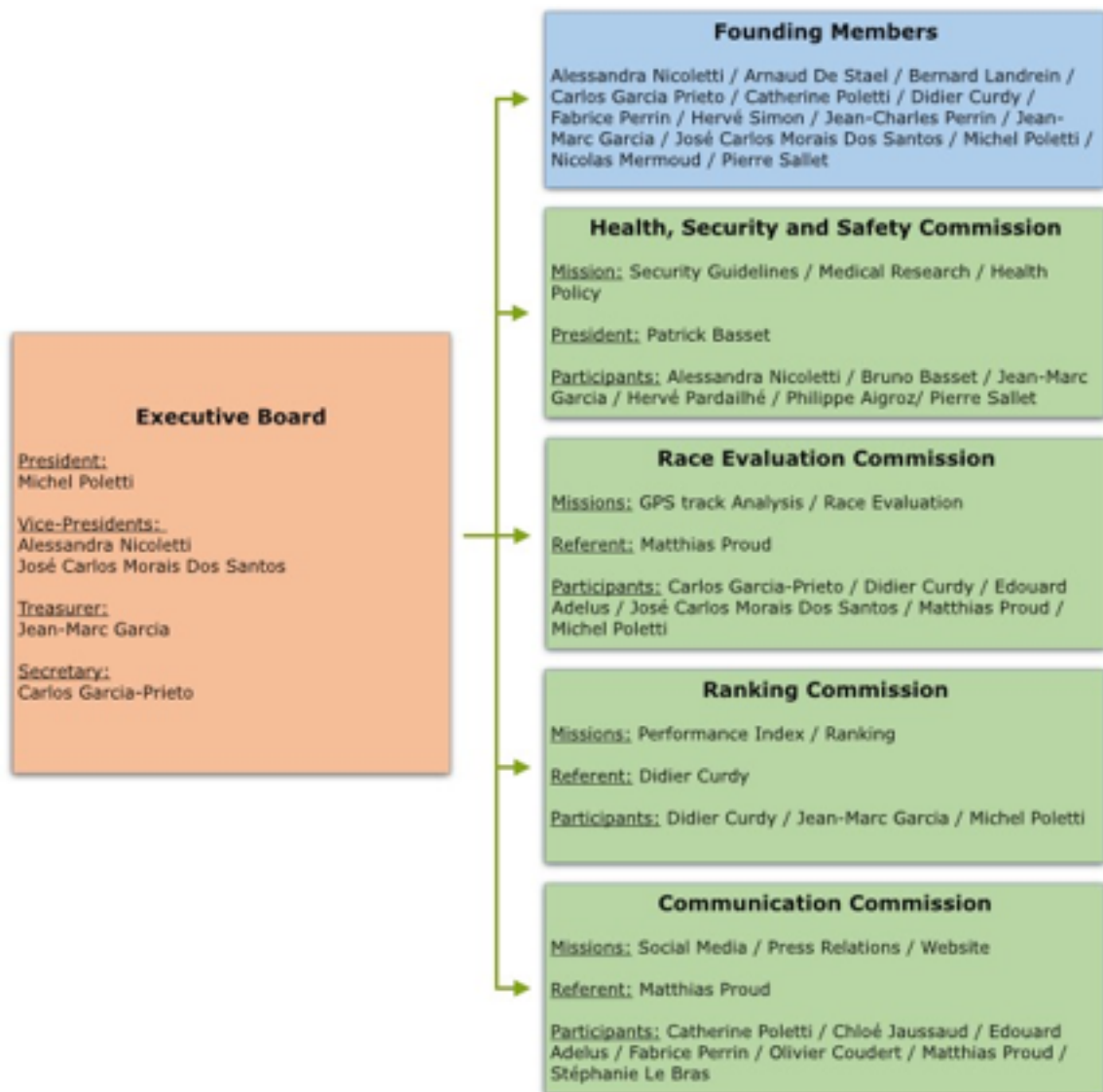
この結果、IAUは自らの名称を冠する**2015年の世界トレイルランニング選手権大会**に従来とは異なり（従来はIAUが開催国協会に少人数のエリートレースを専用で開催させていました）、**既存の大規模かつ著名な大会であるテクニカ-マキシ-レースを指名**しました。トレイルランニング世界選手権は5月30日にフラン

スのアヌシー湖とその山岳エリアをめぐる86km、累積獲得高度5300mのレースとして開催されます。

ITRAの組織と役員構成

年次総会について：

ITRAの全会員は2015年3月22日にフランス・パリで開催される年次総会に出席することができます。この総会ではITRAの方針を検討するほか、新たに理事を選出し、新役員を決定する予定です。



国際トレイルランニング協会 (ITRA) のウェブサイト:

<http://www.i-tra.org/>

連絡先

国際トレイルランニング協会
(International Trail-Running Association)

Tel : +41 (0)2 15 19 02 08

Email : contact@i-tra.org

プレス問い合わせ先

INFOCÎMES – Anne Gery

Tel : +33 (0)4 50 47 24 61

Mobile : +33 (0)6 12 03 68 95

Email : annegery@infocimes.com